

平成27年度 宮崎サイエンスキャンプ・実施報告

【タイトル】

救命救急医になろう ～救急医療の疑似体験～

【担当学部・学科・講座・担当】

医学部病態解析医学講座救急・災害医学分野・救命救急センター 落合 秀信・長嶺 育弘

【目的・目標】

心肺蘇生法や外傷に対する初期治療などの救急医療の疑似体験を行うことにより、生命を維持する機構や、それが破綻を生じるメカニズム並びにその対応法について理解する。さらにトリアージ等の体験を通して災害医療について理解する。また、ドクターヘリやドクターカーならびに救命救急センターを見学することにより、救急医療システムの実際にも触れてもらう。

【受講者】

1日目 4名（男0名、女4名）

2日目 6名（男4名、女2名）

【実施内容】

1. 蘇生人形をもちいて心肺蘇生法（BLS、気管挿管等、静脈路確保等）を体得した。
2. 模型を用いて外傷患者に対する超音波検査（FAST）を行った。
3. START式トリアージの体験を行った。
4. 創処置の1つとして、縫合処置の疑似体験を行った。
5. ドクターヘリならびにドクターカーの見学を行った。

【成果と課題】

救急医療に対する模擬体験を行うことにより、救急医療に対する理解並びに興味が増え、医療職を希望する学生が増えると幸いである。楽しく、そして熱心に実習に参加していた学生さんたちが印象的でした。

